

# 都市計画道路を考える 小金井市民の会

第3号 2016年7月7日  
発行 都市計画道路を考える  
小金井市民の会

連絡先 電話 090-7847-3968 事務局:阿部

## “住まい”と“はげ・野川の自然”をこわす 「都市計画道路」はいらない

**都知事宛ての署名活動開始  
見直しを求める署名用紙ができました**

「市民の会」の第4回世話人会で確認された都知事宛ての「小金井3・4・1号線」と「小金井3・4・11号線」の見直しを求める署名用紙が6月10日  
出来上がって、会員のみなさんにお配りしました。カラフルで素敵なデザイン・イラストも好評です。

会員のみなさんの知り合いの方々への署名が始まりました。

東町5丁目の会員が中心となって、「計画道路」が横断する武蔵野公園で署名行動を計画、6月26日と7月2日の2回行いました。26日は、晴れ上がった青空のもとで散策、ウォーキング、バーベキューなどで、楽しんでいる人たちに署名をお願いすると、ほとんどの人が応じてくれ、「自然を壊さないで」と励ましを受けての署名でした。

署名数  
7/7 現在集約分  
1,224 筆

東京都知事に 小金井市民の考えを伝える 署名にご協力ください。

**「住まい」と「はげ・野川の自然」をこわす  
「都市計画道路」はいらない!**  
「小金井3-4-1号線」と「小金井3-4-11号線」の見直しを求めます

この道路には重要な自然環境、景観、文化が残っています。東京都からは「景観とみどりを保全する地域」、国からは、「自然環境重要地」に指定されています。こどもたちを引き継ぐべき小金井の貴重な財産をこわすことは許されません。

「都市計画道路が計画された」とされる1992年とは違い、今では多くの住宅が建ち込んでいます。またには今日の暮らしがあります。自然環境を壊し、大きな影響をもたらす道路計画が、十分な説明もなく決定されました。「景観文化」の計画は断念できません。

多くの小学校・中学校生が毎日、幅広い道を横断して学路に通うことになります。幼稚園・保育園に近い道路計画により、児童や保護者への負担がかかります。お年寄りへの影響も心配です。

2路線によって東町5丁目、東町3丁目、中町1丁目、中町4丁目道路が、東町5丁目道路に接続されます。この接続を断念して東町5丁目道路の計画を断念してください。

災害時には地域の助け合いが大切です。道路で町を分断することは重要な助け合いを弱めます。ほかの地域にとってもこの路線の計画断念としての役割は期待できません。

この署名活動の目的は、東町5丁目道路と東町3丁目道路の計画断念です。

署名用紙のダウンロードはこちら  
http://www.konaikei.or.jp/



新しくできた市民の会の「のぼり」をもって署名行動



東町5丁目のみなさんが開いた講演会 (6/19)

**「シニアの会」と東町5丁目の方々  
講演会開催  
「道路計画とどう向き合うか」と題して**

「小金井都市計画道路を考えるシニアの会」が11日に前原町と中町の2か所で、東町5丁目の方たちが19日に東町で、「道路計画とどう向き合うか」と題して道路全国連絡会の長谷川茂雄さんを招いて講演会を行いました。3つの会場での参加者からは、「情報がすくなくないので、情報をみんなで共有できるようにしてほしい」「はげの自然を守ってほしい」「補償はどうなるのか」などたくさんの方々の意見や疑問がだされ、さらに長谷川さんから説明されるなど、有意義な会となったことが、2つの会の代表から報告がありました。

# 6月の小金井市議会本会議で3議員が見直し求め質問

小金井市議会の6月定例会本会議で、百瀬和浩議員、坂井えつ子議員、森戸よう子議員が都市計画道路について質問にたちました。「市民の会」の会員も傍聴しました。

百瀬議員は、この道路計画の必要性に「防災」が繰り返して使われてきたが、防災温暖帯の形成にこの道路計画が全く寄与しないことを指摘して、防災上の有効性を問いただしたが、科学的合理性を伴った答弁は全くありませんでした。また、「計画道路の必要性として『緊急輸送道路』『避難道路』をあげているが、具体的には」との質問に、結局答えられず、「都と検討したい」という答弁に終了しました。

また、百瀬議員は、道路計画が現実のものとなれば、少なくともまちづくりの方針の変更を行わなければならない、何ら小金井市としての主体的な考えが全くないことを追求しました。

坂井議員は、東京都のパブコメに表れた市民の意見を示し、この声をどう受けとめているのかを市長にただしました。しかしながら市長は答弁に立たず、都市計画部長が「自然を守るといふ声を重く受け止める」と答弁しました。

市長が市民団体との面談について感じたことを問われても、市長が答弁に立

たないので、議場からも「市長に聞いていよ」とのヤジも。市長はようやく「市民の声を都に伝えたい」と、述べたが、自身の見解を表明しませんでした。

森戸よう子議員は、都の開示資料で、明らかに交通量が減っていることを公表しないようにとの会議録や、国会での宮本議員の質問で、国土交通大臣も地元の理解を得る必要があると答弁していることを示し、市として都に見直しを求めていることを示し、市として都に見直しを求めていることを示し、市長の見解をただしながらも、都に見直しを求めていくことには触れませんでした。

また、百瀬議員、坂井議員、森戸議員は、国分寺崖線（はけと野川）の自然を保全する条例を市が制定することを求めたが、市は、現行の法制で十分として、提案に否定的な見解を表明しました。

## 今後の予定

### ★第6回世話人会

8月4日(木) 19:00~

会場 桜並集会所 1階和室

### ★市民の会の全体会

8月28日(日)

13:30~16:00

会場 萌え木ホール

### ★学習会「はけと野川の自然を守る活動について」(仮題)

9月18日(日)

10時~11時30

会場 萌え木ホール

## 第4回世話人会(6/2)以降の活動

- 6月3日 板橋・大山ハッピーロード訴訟傍聴
- 6月6日 都知事宛て質問書を提出し、都議会各会派に協力を要請
- 6月9日、10日 小金井市議会本会議で、百瀬議員、坂井議員、森戸議員が道路問題で質問
- 6月10日 都知事宛ての署名用紙ができあがり、配布を開始。
- 6月11日 「小金井都市計画道路を考えるシニアの会」が道路住民運動全国連絡会の長谷川茂雄さんを迎えて「道路計画とどう向き合うか」と題して中町と前原町の2か所で講演会
- 6月19日 東町5丁目の方々が、道路住民運動全国連絡会の長谷川茂雄さんを迎えて、「道路計画にどう向き合うか」と題して勉強会を開催
- 6月24日 市民の会の「のぼり」ができました
- 6月26日 東町5丁目のみなさんたちが武蔵野公園で署名行動(署名187筆)
- 6月29日 練馬・外環の2訴訟の公判に市民の会から2人が傍聴
- 7月1日 小平・都道322訴訟の公判に小金井から6人が傍聴
- 7月2日 東町5丁目のみなさんが武蔵野公園で2回目の署名行動(署名26筆)

## 都知事宛て質問書を提出、都議会各会派に協力要請

6月6日、市民の会は、都庁を訪問して、都知事宛ての質問書を都市整備局都市基盤部 街路計画課 課長代理(多摩街路計画担当)の小林文男氏にお渡しし、文書で回答することを要請しました。

その後、都議会のすべての会派の控室を訪ねて、協力を要請しました。東京・生活者ネットワークでは小松久子都議が応対、4月の都議会で小松都議が小金井の2つの路線の見直しの質問を行ったことについて、意見を交換、引き続きご協力をお願いしました。民進党の石川良一都議、共産党の事務局と意見交換を行いました。



(写真は小松都議と懇談の様子)